

教育研修会

2016年9月23日

多職種による包括的な転倒、骨折・骨粗鬆症、サルコペニア予防に関するシンポジウム

開催日時： 2016年10月23日（日） 12:00-17:00

会場： 東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂
(ランチョンセミナーは医学科講義室1 (3号館2階)
東京都文京区湯島 1-5-45 Tel: 03-3813-6111 (代)

プログラム： 別紙参照

参加費： 無料

認定番号： 160132

研修単位： 3単位

問合せ先 日本骨粗鬆症学会事務局
TEL: 03-5645-8611

多職種による包括的な転倒、骨折・骨粗鬆症、サルコペニア予防に関するシンポジウム

2016年 10月23日(日)

東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂

東京都文京区湯島1-5-45 Tel: 03-3813-6111 (代)

12:00-13:00

ランチョンセミナー 医学科講義室1 (3号館2階)

我が国における大腿骨近位部骨折の現状と予防戦略

鳥取大学医学部保健学科教授 萩野 浩

13:00-17:00 プログラム

■基調講演 厚生労働省老健局

■ミニレクチャー

超高齢社会における筋骨格系疾患への多職種連携の必要性

(日本老年医学会)

■多学会合同シンポジウム

1) フレイルとサルコペニア (日本サルコペニア・フレイル研究会)

2) ロコモティブシンドローム (日本整形外科学会)

3) 転倒予防士による転倒予防活動 (日本転倒予防学会)

4) チーム医療における理学療法 (日本リハビリテーション医学会)

5) 骨粗鬆症リエゾンサービス (日本骨粗鬆症学会)

6) 骨粗鬆症診療における多職種連携による費用対効果分析

神戸薬科大学 医療統計学講師 森脇健介

■パネルディスカッション

～健康寿命延伸にむけた多職種による

包括的取り組みはどうあるべきか～

主催:

共催(予定を含む):

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

日本骨粗鬆症学会、日本サルコペニア・フレイル研究会、

日本整形外科学会、日本転倒予防学会、

日本リハビリテーション医学会、日本老年医学会

事務局:

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 荒井秀典

愛知県大府市森岡町 7-430

電話 0562-46-2311 (代)

多職種による包括的な転倒、骨折・骨粗鬆症、サルコペニア予防に関するシンポジウム

2016年 10月23日(日)

東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂

東京都文京区湯島1-5-45

Tel : 03-3813-6111 (代)

3号館2階講義室1

(ランチオンセミナー)



主催：
共催（予定を含む）：

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
日本骨粗鬆症学会、日本サルコペニア・フレイル研究会、
日本整形外科学会、日本転倒予防学会、
日本リハビリテーション医学会、日本老年医学会

事務局：

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 荒井秀典
愛知県大府市森岡町7-4-30 電話 0562-46-2311 (代)